

12

起案紙第一號

明治四十五年二月廿日起案

起案捺印

二月廿日發行

發行捺印

主務官 總理局長

大臣 齋藤

次官

參事官

副官

軍務局長

艦政本部

明治四十五年二月廿日

大臣

旅鎮第四十六號一上申、係ハ沈

發送番號

四三二二二

海軍

45.2.26 受取

局接受

海軍

設元諾威國汽船「センクス」号工作

部リニテ賣却處分ノ件認許ス

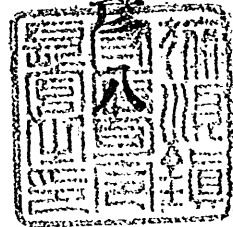
但契約書ハ別紙ノ通ト心得ラヘシ

2119

旅順鎮守府  
明治四十五年二月六日

明治四十五年二月六日

旅順鎮守府司令長官山田



二月十日  
陸軍省

海軍大臣男爵 齋藤 實殿

沈没元諾威國汽船センヤス研賣部處令ノ様

昨年官房第六四八號ノ四ヲ以テ本船處令ノ關シ由割ニ基ツ  
キ別紙契約書ノ札人心得者廣告書按ニ依リ工部部  
ニテ賣却處分取計ラハシメ度候奈申認許相成度

經理局

右上申入

(別紙入札心得者賣却契約書廣告書按五番添)

印

官房第 四二二 號

2120 2/12

契約書

一 旅順港外沈没汽船

港隻

購買受代金

旅順海軍工作部長

(以下) 旅順港外

口 岩ヨリ南三〇度西距離五鎮

(以下) 賣却ス

ル汽船老隻現狀ノ

依テ契約各事項ヲ定ムト友ノ如シ

第一條 乙本契約ノ履行ヲ担保スル為ニ保証金

トシテ現金

ニ對スル

保管証書第

号中ニ納付シ契約履

行後還付ヲ受ケルモノトス

第二條

乙本旅順海軍經理部職人徴皮官吏ノ



券ス人

ス面

印

券ヲ

2123

2122

二条ヲ左ノ面ヲ改ム  
 此ハ李契の歸領ノ由ヲ  
 知レ隨ヒ四更代金ヲ納付スルモトモ若シ之ヲ納付セザルハ  
 甲ハ李契のノ解除シ契の保額金ヲ取リ去リ所得金  
 ヲ三ノ条ヲ左ノ面ヲ改ム  
 乙ハ代金納付ノ由アリ  
 丙以由引揚ノ善否ニ契  
 的歸領ノ由ヲ揚三ノ条ノ由ニ悉皆引揚ヲ定ム  
 且ツ之ヲ甲ノ持定スル地外ニ搬移スルモトモ

買主の責任を定める

本条ヲ受クシ若シ残存物件アルモ甲ノ命隨ヒ清掃  
ス可シ但シ検査為メ特ニ費用ヲ要シタルモ乙ノ負担  
トス

第七條 乙ハ第三條ノ期限内若クハ前條ノ指定ニ

依リ完全ニ清掃ヲ終ハラサルモハ契約保証金ハ全

部及ヒ残存物件ハ官ノ所得ニ歸シ本契約ハ解除

セラル可シ但シ甲ニ於テ期限後引揚ノ續行ヲ

兼諾シタルモハ遲延日數間一日毎ニ買受物

價ノ百分ノ一ノ違約金トシテ官ニ納付シ完全ニ

清掃ヲ遂ケタルモハ契約保証金ハ戻付セラルモ

トス

第八條 乙ハ甲ノ兼諾ヲ得ザルモ本契約ニ因リ生スル

權利ヲ他ニ讓渡スルコトヲ得サルモノトス

2125

2124

モノトス

存物件

前項ノ

カ

モ

サ

シ

凡

乙

セ

カ

セ

カ

セ

カ

セ

カ

七条ノ左ノ面ヲ改シ

乙ニ於テ不可抗力(作業者ノ能クせん期ニ即)又ハ雨害

風浪ノ場合ヲ會シ(其ノ他ノ故者ト事由ト因ルニアラス

ト)乃チ之条ヲ著シ(如限ニ起工セザルトハ君ノ事業

ヲ中止スルト者運序ノ毎々四日ニ是德代價ノ若干分ノ

若干ノヤ(其ノ條合トシテ友ニ付シ其ノ運序延テ

九日ヨリ超ユルト者本條ノ解除ス

前項ノ條ヲ契ルヲ解除シタル場合ニ契ル理心金及子

存物代ハ之ヲ返シ得トシ且買代金ハ四割ハセサル

モノトス



第九條 前條ノ外、明治三十九年海軍省告示第九

三號物品購買賣却規則ヲ批ルモノトス

右契約ノ確實ヲ証スルモノトシ、本書印通ヲ作り各自

一通ヲ保有ス

明治四十五年 月 日

海軍省 作部長

買受人

入札掛下廣告

一 旅順港外沈没汽船売集

入札保証金見積價格百分五以上入札者ハ三十年四月

海軍省令第百五号ノ資格ヲ有セサルモ妨ケナシ

右沈没汽船賣却又買受望ノ者ハ当部ニ就キ契約書按

入札人ニ得書及現場熟覧ノ上入札保証金ヲ添

年月日午前十時限リ入札スヘシ即時開

札ス共契約ハ旅順海軍工作部長伊達只吉担任ス

明治四十五年

月 日

旅順海軍工作部

右官報掲載

入札入心得書

一 入札書ハ別紙書式依リ入札者氏名表記  
投函ス可シ

但入札書ノ字体ハ楷行内トシ数字ハ壹貳叁拾  
ノ字体ヲ用ユルモノトス

二 入札人ハ入札書投函後ハ開札時間前ト虽トモ引  
替変更又ハ取消ス可トヲ得ス

三 入札人ハ入札前ニ入札保証金ヲ又代理人トシ其委任状  
ヲ掛官ニ納メ調査ヲ受ク可シ

四 入札保証金ハ各自見積代金ノ百分ノ五以上トス  
五 契約保証金ハ落札代金ノ百分ノ十以上トス

六 落札者ハ七日以内ニ契約ヲ締結ス可シ若シ期限

段 文 状 拾 冊

2129

2128

搬移地域  
記入子西女

二 契約の締結等ハ入札保証金を官所得トス  
 七 入札保証金落札者定マリルキハ落札者外即時  
 戻付シ落札者ニ契約締結後戻付ス可シ  
 八 本船現状ハ自費ヲ以テ隨意調査ヲ為スコシ但シ豫  
 調査方法及豫定期日ヲ記載セル書面ヲ海軍省  
 軍港務部及当部へ届出ス可シ  
 九 本船引揚品ニ対シテ入官之方証明ヲサヘルモノトス  
 十 入札人ハ明治三十九年四月海軍省令第五号ノ資格ヲ  
 有セザルモ妨ケズ  
 前各項外明治三十九年海軍省令第五号物島購買  
 費却規則ニ拠ルモノトス

海軍省作部

一 敬順港外飛渡汽船

志集

秋買受代金

右契約書按入札人心得書熟知上入札仕候也

明治四十九年

月 日

省所

名

印

紙一第

起案紙第一號

明治二十一年四月廿九日

起案

四月廿九日發付

發付

發付

提筆

艦政本部長

第三部長

部員

大臣

次官

參事官

副官

第一部長

第二部長

會計課長

軍務局長

小

名

名

名

此訓令取消...

明治二十一年四月廿九日

海軍大臣

吳鎮司

軍艦成間少尉候補生乘艦設備撤去件

發送官房第一四一號

軍房

四月廿九日 官房接受

2132





官房機密五七〇号

明治四十二年十月十一日 海軍大臣

是項司長官長等

軍艦隊間練習船ノ設備圖元帥

軍艦隊間ノ少尉候補生練習船ノ充テ(中略)定

ニ付其設備ノ圖ニ是鏡核番号四五九号ノ三ノ以テ

修防本部長ニ送付スル旨ノ指示書毎リニ付テ

行セシメテ其大要ニ付テ軍艦製造所及修

理費ノ支弁ノ別ニ協議配付ス

右訓令云々

(印)

花崎納

第三部長

第三部長

軍務局

船

四ノ五九三

明治四拾五年四月廿日

吳海軍工廠

海軍艦政本部第三部御中

淺間候補生室改造件

本件ニ関シ別紙寫シ通リ淺間副長ヨリ意見提出ニ付焉参考

右送付ス

(別紙一葉添フ)

艦本三第

九號

3

土佐紙様式會社納

海

軍

2135

船

目下、予、予  
艦、充、予  
通、場、田

艦政本部

314

軍

2135

見提出ニ

3

土佐紙株式会社



目下、予吾妻、阿蘇、宗谷ヲ繞ル  
艦、充テラル、豫定ニ付、従来ノ  
通、舊田セモナラレタレ

艦政本部 海下

軍務局

2136



候補生室改造ノ件

一昨年ノ少尉候補生練習艦當時ノ艦長田中海軍大佐ノ  
 實驗談ニ依リ目下設備ノ本艦候補生室ハ遠洋航海ノ  
 途ニ就キ以後ハ暑氣非常ニ酷烈ニシテ且ツ狭隘ナリシヲ  
 以テ教授用並ニ温習用トシテ更ニ使用セル事ナク且ツ候補生用  
 釣床フックモ其數不足ナリシノミナラス夜間就眠ニハ不適当ナ  
 リシヲ以テ常ニ士官次室前中甲板ニ臨時卓子ヲ設ケ之等  
 ヲ諸用ニ供シ釣床ハ各所ニ分散就寢セシメタルノ状態ニシテ殆  
 ド候補生室ハ有名無実タルノ感アリタリ將來再ニ本艦ヲ練  
 習艦トシテ使用セラルモトセハ此回復旧工事ノ機會ニ於テ目下  
 ノ設備ヲ撤去シ之ヲ全然兵員用トシ次室前中甲板ニ之ヲ

軍

電

等諸設備ヲナスヲ得策ナリト信ストノ意見ニ有之候条可然  
御詮議相成度

(終)

重厚端減表一政  
製圖室  
老松園格稿

起案紙第一號

明治甲午年七月二日起案

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

提筆

陸軍部部長

陸軍部

第三部長

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

大臣

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

次官

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

軍務局長

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

45. 軍務局長

軍務局長

軍務局長

軍務局長

軍務局長

經理局長

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

主任購買

明治甲午年五月十日

海軍大臣

橫濱第四号二六軍艦ハ雲上甲板前部

發送番號  
陸軍部  
第四号

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部



横廠第 四 號 二 六

明治四十五年四月二十九日

海軍大臣男爵齋藤 實殿

四月三十日 進達

製 三 號

軍艦八雲ハウ井シケ撤去ノ件

軍艦八雲上甲板前部ハウ井シケニ基解装陸揚方  
州紙ハ厚さ第一口流ノ一九寫ノ通リ請求ニ依リ調査結果  
至當ト認メ候就テハ自前該艦特定修理施行中ニ付  
時機ニ於テ撤去ノ儀以認許相成度

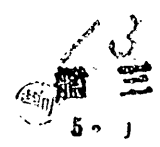
右 上 申 入

（本軍艦先入費概算書一頁、因面正副の重量増減表一頁）  
（及請求書一頁）

官房第一四四六號



2141





軍艦八雲の用ニ付テ撤去工事方案

兼入費概算書

一 別冊ニ示ス如ク上甲板前部ニ在ルウヰンチン及左附屬金

具共舊式取除ク

入費概算金九拾弍圓八拾錢

内

工費 金 五拾圓

材料費金 拾拾圓

附屬費金 拾弍圓八拾錢

工事日数 拾五日間

右ノ通

明治四十五年四月廿五日

横須賀海軍工廠造船部長 小山吉郎



海軍



八雲第 四号 二九

明治四十五年四月十三日

軍艦八雲 副長海老原啓一

横須賀海軍工廠長坂本一殿

船体部修理件

一 前部揚重機

左記

理由、前部揚重機ハ本艦製造當時前機附着自

ノ揚艇桿ト共ニ之ヲ整備セシモ其後左記置置ハ不

必要ト認メテ明治卅九年二月前記揚艇桿ノ左記

装置揚重機具係トテリ居レリ然ルニ揚艇桿

ト相俟テ其用ヲナセルニ揚重機ノ用ヲ殆ド使用セラルコ

トナリ且ツ將來之ヲ使用スヘキ揚重機モナリ唯ダ場所

庫 庫

東京三浦印行

ヲ充塞スル、外何事ヲ用ヲナカハルモ、ト認メ候條本朝  
様國特定條理之際、左様吉基及國聯諸管下共  
ニ解装陸揚相成度  
右請  
不ス

終

起案紙第一號

明治三十五年五月二日起案

五月十日發行

發付者

（抄本）

艦政本部長

第三部長

部員

大臣

副

參事官

第四部長

第一部長

45.

次官

參事官

參事官

第二部長

會計課長

五月七日

軍務局長

局員

局員

經理局長

局員

局員

明治三十五年五月十日 海軍大臣

高松水雷艇隊司令部

發送番號

一五五八

原簿

五月六日 發送

2145

艦會

5-8

電務局接受

5/8

5-3

江戸府保寧中ノ嘉子五十九号及尔五十二号水霞  
誕ニ度紅丹之ヲ臺野家ニ立ルルノ人レ  
左列念ス

(終)

起案第一號

明治三十五年四月廿六日起案

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

艦政本部長

第三部長

部員

大

次官

參事官

副官

會計課長

加藤

加藤

加藤

副官

第四部長

加藤

加藤

加藤

電務局長

局員

局員

小坂

經理局長

主任

主任

相原

相原

明治三十五年四月廿六日  
是日午後八時、八時、九時、十時、十一時、十二時、

發送番號

陸軍省

陸軍省

陸軍省

五月一日

2147

45. 四月廿六日

電務局接受

會 4-27

四 4-27







一公稱第百八拾五號中急後船

吉隻

(終)

供覽

三九二

明治四十五年六月十日

横須賀鎮守府司令長官男爵瓜生外吉

第三部

海軍大臣男爵齋藤實

會計課

公称第一七四號

軍務

帆布局

附屬品共

壹隻

但横須賀海兵團ヨリ還納、分

帆

附屬品共

壹隻

但第三艦隊ヨリ還納、分

一ギク

附屬品共

壹隻

但海軍機關學校ヨリ還納、分

一ギク

附屬品共

壹隻

但横須賀敷設隊ヨリ還納、分

一注

附屬品共

壹隻

但横須賀敷設隊ヨリ還納、分

官房第一九六二號

經理

艦政

原簿濟

六月十日 電務局 45.6.10

2151

一、ジーンギ(長古吹可)

附屬品共

壹 隻

但横須賀敷設隊ヨリ還納ノ分

一、公称第一九四號  
ピンネース

附屬品共

壹 隻

但横須賀海兵團ヨリ還納ノ分

一、公称第一四二號  
カツタル

附屬品共

壹 隻

但海軍水雷學校ヨリ還納ノ分

一、バーシ

附屬品共

壹 隻

但軍艦橋立ヨリ還納ノ分

一、公称第一四七號  
汽艇

附屬品共

壹 隻

但横須賀海軍港務部ヨリ還納ノ分

右賣却公称第一七四號バーシハ明治四拾五年参月拾日公称第

二四七號汽艇ハ今年四月拾日其他ハ今年四月七日買受人

ニ引渡済ニ付報告ス

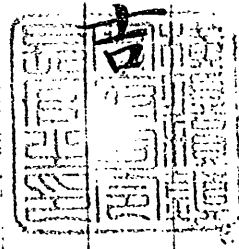
(終)

供覽

横鎮第一五四號

明治四十五年七月三日

海軍大臣男爵齋藤 實殿  
横須賀鎮守府司令長官男爵瓜生外



廢船舟賣却處分濟小件

艦政本部長

一傳馬

第三部

第三部

田

壹隻

軍務局

一

第二部

會計課

田

壹隻

一

會計課

田

田

壹隻

一

會計課

田

田

壹隻

一

會計課

田

田

壹隻

經理局長

一

會計課

田

田

壹隻

官房第三三四號

横須賀海軍港務部還納分

45 七月

軍務局接受

2153

公算第二八號

一傳馬船

附屬品共

壹隻

一傳馬船

壹隻

元軍艦天城ヨリ還納ノ分

一カッタ

附屬品共

貳隻

軍艦満州ヨリ還納ノ分

右賣却明治四十五年五月二十六日買受人ニ引渡濟ニ付報  
告ス

(終)

艦政本部

軍務局

經理局

一七八

明治四十五年七月二十三日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 野島齋藤實殿

第三部

第二部

雜收船賣却件

會計課

公稱番

船

種隻

數還

元記 事

一五二六

馬船

壹

佐世保海兵團

修理用加用乳  
込キニヨリ賣却ス

九

船

壹

佐世保港務部

以下同

三四 運貨船

壹

三六五

全

壹

三七

輪

壹

主任 船員 製造

壹

大連防備隊

二〇九

號

壹

大連防備隊

原簿

元八月廿日

二 艦 8-22

16-17-29

2155

819

右報出  
る

全 全 全 全

壹 壹 壹 壹

” 軍艦肥前 ” ”

(終)